

授業科目 障害の評価と福祉用具演習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	義肢
江原 義弘、真柄 彰、阿部 薫、笹本 嘉朝、 松本 潔、大島 康浩、野口 潔		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	○	○		
【一般目標：GI0】 障害をもった対象者によく適合した福祉機器を提案できるようになるために各種の疾患について福祉機器の処方から適合設定までの流れを総合的に修得する。					
【行動目標：SBO】 1) 福祉機器を必要とする代表的疾患、対象者の特徴を説明できる。 2) 福祉機器を必要とする代表的疾患、対象者の特徴を評価できる。 3) 最適と考えられる福祉機器の機能をデザインする。 4) 福祉機器に関連した各職種の役割について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	全体オリエンテーション 脳卒中片麻痺者の生理学的特徴・神経病理・身体的特性			1, 2	講義、担当：真柄 彰 他
2	脳卒中片麻痺者の福祉用具			1, 2, 4	講義
3	片麻痺の方へのテレビインタビュー			1, 2	演習、担当：江原 義弘
4	脳卒中片麻痺者の運動特性と評価（応用動作）、ADLの理解、OTの役割			1, 2, 4	講義
5	脳卒中片麻痺者の装具（急性期・回復期・維持期）			1, 2, 3	講義、担当：笹本 嘉朝
6	脳卒中片麻痺者の運動特性と評価（基本動作）、ADLの理解、PTの役割			1, 2, 4	講義
7	脊髄損傷・頸髄損傷の生理学的特徴・神経病理・身体的特性			1, 2, 4	講義、担当：真柄 彰
8	脊髄損傷者・頸髄損傷者の方へのインタビュー			1, 2	演習
9	脊髄損傷者・頸髄損傷者の装具			1, 2, 3	講義
10	脊髄損傷者・頸髄損傷者の移動機器（車いす・自動車など）			1, 2, 3	講義、担当：大島 康浩
11	住宅改造			1, 2, 4	講義、担当：大島 康浩
12	脊髄損傷者・頸髄損傷者の運動特性と評価（基本動作）、ADLの理解、PTの役割			1, 2, 2	講義、担当：野口 潔
13	脊髄損傷者・頸髄損傷者の運動特性と評価（応用動作）、ADLの理解、OTの役割			1, 2, 3	講義、担当：松本 潔
14	床ずれ防止用具・入浴関連用具・排泄			1, 2, 3	講義、担当：松本 潔
15	まとめ／脊髄損傷関連テスト				まとめ・試験、担当：江原 義弘
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 試験 小テスト レポート 出席 態度			【履修上の留意点】		